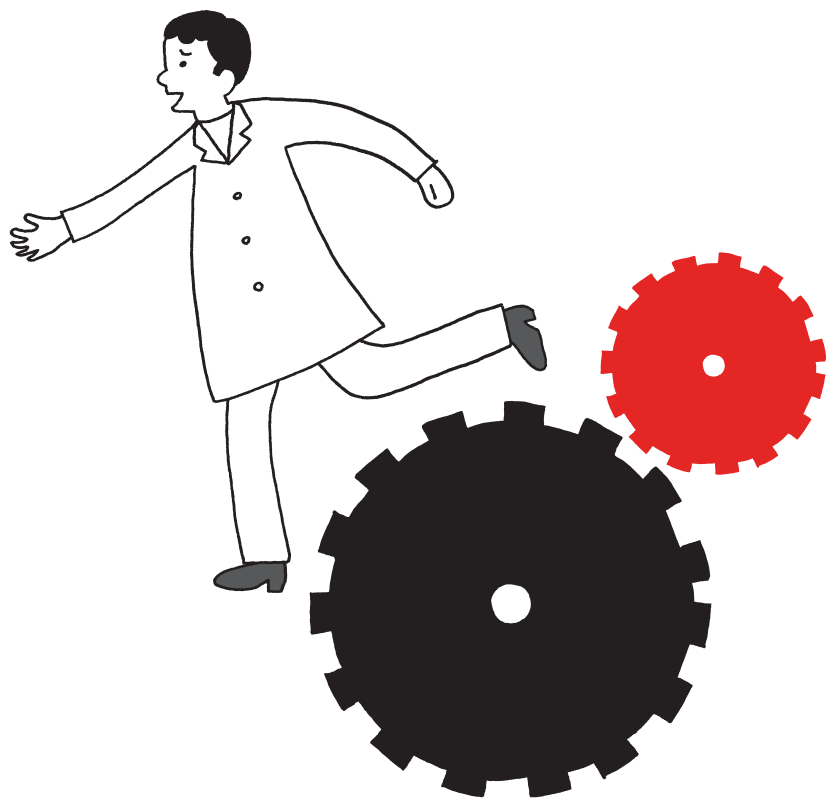


「医療崩壊」を検証する

安全で質の高い
医療提供体制を求めて



●日時 2008年9月6日(土)
13:00~16:45

●場所 大阪弁護士会館2階ホール

参加費
無料

●パネリスト

藤村 正哲 氏 (大阪府母子保健総合医療センター総長、日本小児科学会副会長)

松丸 正 氏 (弁護士、全国過労死弁護団代表幹事)

原 昌平 氏 (読売新聞記者)

●タイムテーブル

12:30 開場
13:00 開会
13:10~13:50 基調報告
13:50~16:30 パネルディスカッション
16:45 閉会



〒540-0047 大阪市北区西天満1-12-5
地下鉄・京阪「淀屋橋駅」1番出口より徒歩約10分
地下鉄・京阪「北浜駅」より徒歩約7分
地下鉄「南森町」2番出口より徒歩約10分
JR東西線「北新地駅」より徒歩約15分

近時、勤務医師の過重な労働実態、総合病院における小児科や産婦人科の廃止、救急搬送先がなかなか見つからないいわゆる「たらい回し」問題、地方部における医師不足など医療体制をめぐる問題が注目を浴びています。

そこでこのたび大阪弁護士会では、いま医療現場で実際に起こっていることを把握し、市民がいつでもどこでも安全で質の高い医療を受けられるようにするためにわれわれに何ができるのか、そのことを展望するためにこのシンポジウムを開催いたします。

藤村正哲氏には、医師として長年にわたり小児科医療現場に従事されてきた経験も交え、充実した小児科医療体制を実現するための問題点と展望をお話いただきます。松丸正氏にはこれまで関わって来られた過労死事件の経験を通じて、過酷な勤務医の労働実態とその改善方法をご報告いただきます。さらに原昌平氏には新聞記者としての視点でご助言いただく予定です。

奮ってご参加下さい。

[主催] 大阪弁護士会

[問い合わせ] TEL.06-6364-1227 大阪弁護士会委員会担当室:村松